

2023年7月12日

北海道テニス協会 医科学委員会

お知らせ

「2023 ダンロップカップ北海道ジュニアテニス大会」

出場の選手の皆様

当大会に於いて、成長期テニス選手肘(ひじ)検診 16歳以下の選手を対象に、稲積公園テニスコートで実施することになりました。

別紙を参照の上、ご参加ください。

簡単な検査で、今の自分の肘(ひじ)について知っておきましょう。

実施日 2023年 7月 30日(日)

10:00 ~ 13:00

会場 稲積公園コート 大会本部脇 テント内

対象者 希望する16歳までの参加選手

検査時間 2・3分予定

成長期テニス選手肘検診

～テニス選手に知ってもらいたい肘の障害～

➤ 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎をご存知でしょうか？

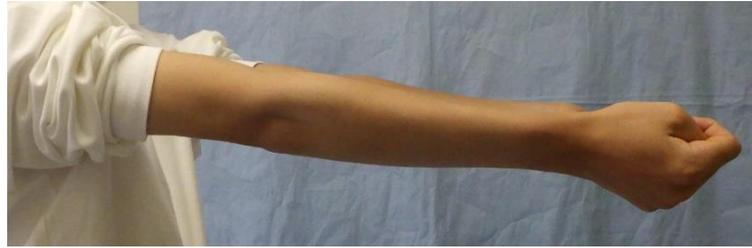
＜14歳のテニス選手＞

5歳からテニスを開始

10歳ぐらいの時から

肘の違和感があったようですが
症状も軽いので放置していたようです。

13歳になって3月から肘の痛みが
増してきて、肘が曲がりずらいので病院へ。



関節内遊離体(関節ねずみ)で手術に至ってしまいました。
幸い現在は症状なく競技を続けております。

上腕骨小頭離断性骨軟骨炎

(OsteoChondritis Dissecans : OCD)

＜沈黙の障害＞初期は**痛みがない**(自分ではわからない)

＜進行性の悪化＞初期から進行期、そして終末期へ徐々に**悪化する**
遊離体**(関節ねずみ)**の形成、変形性関節症**(元に戻らない)**

＜早期発見の重要性＞初期であれば95%は手術をせずに治癒

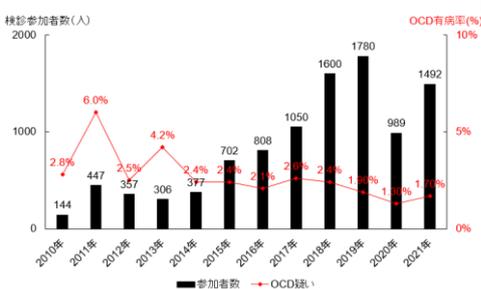
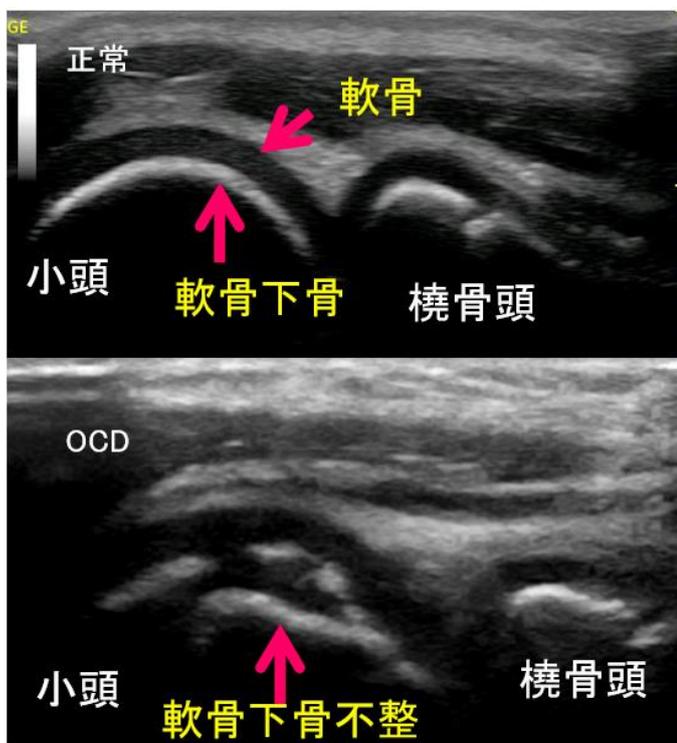
OCD早期発見のための超音波肘検診

- ✓OCDは成長期野球選手の2～3%程度に発生すると言われています。
- ✓全国各地で超音波を用いた野球肘検診が行われています。
- ✓北海道でも2010年から超音波野球肘検診が行われています。

2010年



2020年～



- ✓1～2分でOCDがあるかどうかわかります。
- ✓超音波はおなかの赤ちゃんをみるためにも使われており安全です。
- ✓OCDは初期であれば95%程度の選手が手術をせずに治ります。

**テニス選手にもOCDは発生しますが、
どの程度のリスクなのかは明らかにされておりません。
定期的な検診による予防と早期発見が大切です！！**

**好きではじめたテニスを楽しく長く続けるために！
未来のスーパープレイヤーのために！
是非、肘検診を受けましょう！！**